



第92号
2012年12月15日発行

グラッドストーン日本語学園
ひかり文集

バンクーバー新報 12月8日号掲載、Vancouver Shinpo Japanese Weekly Newspaper

五歳児水曜日クラスの絵



「漢字学習について」保護者向けに講演

グラッドストーン日本語学園

11月27日(火)より12月1日(土)の5日間、グラッドストーン日本語学園にて保護者向けに村上学園長より「漢字学習について」小学科の保護者を対象に講演が開かれた。幼児から高等科まで通園する生徒に、親としてどのようにサポートしていけば良いのかを前提に日本での調査結果と比較し、カナダでは読書・繰り返し書く・フラッシュカード・手紙などの重要性などからの知識や42年の豊富な教育経験を生かして話された。

「漢字を学ぶ事により、読み書きが上達するだけではなく、質の高いコミュニケーションをとることが出来るようになる」この言葉は、この国で日本語を学ぶ子どもを育てる親として、とても興味深いものであった。また、小中

高等科に進むにつれて高い言語力が保持されている事例も話された。そして親としてどのようにサポートすれば子どもの意欲を向上させ、覚えた漢字を維持、学習や生活の中で生かすことが出来るのかを現在のIT社会の中で育つ子ども達向けにPCパワーポイントやiPadを使用して工夫しながら説明された。

講演会では、参加名簿には総勢百名近くの名前があった。その最後の土曜日に参加した私は、終了時のデスクッションを聞いたり、既に届いたEメールでの保護者の感想「出来た部分を褒めつつ少しずつ進歩できるように気長に頑張りたいと思う」等を聞いたりして大変参考になった。今後も、授業内での日本語学習にとどまらず、漢字検定や日本語学習、特に漢字学習についてのウェブサイトの情報交換が出来る様に学園内にて研究していくことも視野に置かれていた。配布された資料には、これからも生徒の日本語の向上の為に生徒、保護者、教員が三者一体になって楽しく学習させたいと語っていた。

(一保護者より)



「漢字学習について」に参加者(土曜日クラス)

《みんなの作文》

一年生

「がをました。」のぶん

ハバード あいり

ドラエモンが だらやきを たべました。

アンダートン ジェニー

わたしが ゆきだるまを つくりました。

のぶはら かいり

せんせいが くしやみを しました。

マエデ キャリィ

いぬが えさを たべました。

ながた ロイド

ロイドが おかしを たべました。

あらい えり

せんせいが はなを つみしました。

ことうげ えま

らいおんが うさぎを たべました。

いとう せな

りすさんが くりを ひろいました。

うえの みはる

くまさんが とうもろこしを ひろいました。

やつ たくま

きゆうきゆうしやが らいとを つけました。

おおき たかひろ

うさぎが りんごを たべました。

チャン じゅんせい

おかあさんが そうじきを かけました。

たけい まいける

るいすくんが でんきを けしました。

まきはら なおか

ままが ごはんを つくり ました。

なかむら まりお

ねこが みずを のみました。

みずたに レミー

おかあさんが おさらを あらいました。

くらもと こうた

かえるが みずを のみました。

二年A組

「さかなやさん」

オマルアリ あや

あじが やすいです。おいしいです。ぜひどうぞ。

「お花やさん」

ニューエン ゆか

わたしの、おみせは お花やさんです。いろんな きれいな お花が いっぱいあります。

「がつきやさん」

シバートセン ルーク

いい音が 出るのがつきが、たくさんあります。おすすめは、ピアノです。かいにきてください。

「お花やさん」

ルキマ アステイン

どんな はなが いいですか。いろんな きれいなはなが あります。ぜひ きてください。



「おもちゃやさん」

たていし げんき

トミカが、おすすめです。ロボットが 十円になります。ぜひかいに きてください。まっています。

「ペットやさん」

イン はな

いっぱい かわいい子犬と 子ねこと ハムスターがいます。ぜひ かいにきてください。

「おかしやさん」

山下 かれん

チョコレートが、やすくて おいしいです。ぜひ かってください。

「おかしやさん」

チャン アシユリー 琴乃

きょうは、ラムネが おすすめです。いろんないろが あります。ぜひ きてください。

「花やさん」

トラン えりか

花の においをかいで、すきだったら ぜひ どうぞ。

「おもちゃやさん」

ソレンソン たける

きょう ゆうぎおうカードが、やすいです。五十円です。かってください。

二年B組

うれしいことば

友だちが くる!

マーズデン えみ

「友だちがきてもいいよ。」

と、言ったとき うれしかった。どうしてかというと、わたしのいえに きたから。うれしかったです。

うれしかったことば

へんみ えりか

わたしは、おかあさんから、「ともだちとあそべるよ。」

と、言われたときは、とてもうれしかったです。
なぜうれしかったかと言うと、ともだちとあそぶのが、すきでたのしいからです。

お父さんがいったことば

ピーターズ 燈也

日曜日サッカーのしあいのあと、お父さんに、

「サッカーじょうずだね。」と言われて、とてもうれしかったです。

いつしよにあそぼう

さかもと はな

一人で学校のこうえんであそんでいると、リーリーが、
「いつしよに、モンキーバーをしよう。」
と、いつてくれました。うれしかったです。

じょうずだね

グラス 海

木曜日 田なべせんせい、
「字がじょうずだね。」
と、言いました。

じょうずだねと、いわれたからうれしかったです。

こんにちば

古屋 あや

わたしは、こんにちばという、ことばが好きです。どうしてかという、明るい気もちになるから

です。あとは、とてもいい気もちになるからです。

ごめんね

ソティロフ あこ

ねこのペパーにひっかかれまして。かなしかったです。でも、ペパーがかえってきて、なめてくれました。

「ごめんね。」
と言っているようでした。

三年生



いつもしているあそび

ラオ リオ

ぼくは、サッカーであそびます。ぼくのあそび方は、だれかがゴールになって、ほかの人はネットにシュートしてじゅんぼんをこうたいします。だれかが十かいゴールしたらかちです。

また、かくれんぼタッグもします。かくれんぼタッグは、だれかがおにで、さいしよはおにの人が一分数えます。そして、おにがにげている人をさがします。

わたしは、いつもけいさつとどろぼうごっこをしてあそびます。

青木 空

あそび方は、二つチームがあつて、つかまえます。けいさつがつかま

えます。つかまったら、けいむしよにいきます。

ほかに、グラウンダーズもあそびます。あそび方は、公園の上のものにのぼるとき、おにの人は目をとじなきやいけません。だれかが下で歩いている音をきいたら、グラウンダーズと言います。もし、だれかが歩いていたら、その人がおにになります。

リー まいか

わたしは、チュンタグをしてあそびます。おにがいて、ちがう人をつかまえます。つかまえたらチュンになります。さいごの人は、かちです。

また、ドクタードッジボールもします。二つのチームがあります。ドクターもいます。だれかが当たったらドクターがたすけに行きます。でも、ドクターが当たったら、ちがうチームのかちです。

チャン きら

わたしは、いつも友だちとブランコをします。ふつうのじやなくて、もつと大きくて、まるいです。足でこがないと、高いところにいけません。すわってもできるけど、そんなに高いところまでいきません。

また、歩きまわつてもだちとしゃべっています。雨の日でつまらないときは、しゃべっています。

わたしの友だちが、ジムナスティックに行っているから、わたしにスプリットジャンプをおしえてくれました。

四年生

「とらとおじいさん」

生田 あやの

わたしは、とらときつねがしゃべつてとらがきつねのわなにはまったときの場面がとてもおもしろいとおもいます。このお話はいろいろな登場人物がいてとてもおもしろいとおもいました。おじいさんが、いろんなものにしゃべつているのが、わたしの好きな場面でした。

わたしの一番好きな登場人物は、きつねです。なぜかというとてもいいきつねで、おじいさんをたすけてとらをおりに入れたからです。わたしがこの本を書くのなら、さいごにとらがにげつて、つかまつてどうぶつえんにつれていかれ、かの女ができてとてもいいじんせいになったようにします。

いわい みか

わたしがこのおはなしでおもしろかったと思つたところは、とらが自分に、「おれさまは、ジャングラーのりっぱなとらだ。」と言つたのに、自分でおりに入つた

ところでは、わたしは、このおはなしを読んでもいいおはなしだと思いません。こわいおはなしではないし、子どもが楽しむおはなしだと思いません。わたしが好きな場面は、きつねがとらをおりにいれたときです。わたしは、とらがあまりすきではありません。でもこのおはなしは、おもしろかったと思います。



八木 敏那

このおはなしでもおもしろかったところは、きつねがとらをだましたことです。私が思ったことは、なんでおじいさんがとらをたすけたけど、とらはおじいさんを食べようとしたのかと思いました。おじいさんは木や牛や道に、とらに食べられるのがむちゃじゃないかきいたけど、みんなは「とらに食べられてやるんだな。」と言いました。私が好きな登場人物はきつねと木です。話をよんでもおもしろいとは、なんできつねだけがおじいさんをたすけたのかと思いません。

田瀬 伸哉

この話をよんでもおもしろかったです。この話の登場人物はおじいさんととらと木と牛と道ときつね

です。きつねはおじいさんをたすけました。木と牛と道が言ったことは正しいです。人間は木のえだをきります。人間は道にごみをすてます。木と牛と道はおじいさんをたすけなかつたです。おもしろかつたところはきつねがとらをちよつとだましておりに入れたところ

五年生

「物語をしようかいしよう。」

江 翊綺

わたしがえらんだ本は「ことわざはじまり物語」です。この本の中には、五十五このお話があります。中国や外国のことわざがいっぱいあります。長いかもしれないけど、すこし絵があるから、読みやすいです。みなさんも、読んでみたら、ことわざの意味やどうやってできたのかわかるようになります。読んでみませんか。

クリモ ニコラス

わたしのおすすめの本は「かいけつゾロリ食べられちゃう」。この本では、ゾロリと二ひきのぶたが大きな大王に食べられた。体の中に入って下に出てきたいのにおしりはきたないから口から出てきました。わたしのだいすきな場面は、ゾロリとぶたが大王の中にお

つちたところでは、この場面がすきな理由はすごくおもしろくてへんだからです。

スチュワート 花



私のおすすめの話は、「手の物の物、なあんだ」という話です。毎朝、仕事の前、井上さんという学校の校長先生が、知らない女の子に会って、その女の子が井上さんに、「手の物の物、なあんだ。」と言って、当ても、まちがえても、女の子は手の物の物を井上さんにあげます。

野村 創輝

この本は、うさぎとかめの話です。ある日、うさぎとかめがやって来る。そしたらうさぎは、早いかからきよう走りました。はじまつたらうさぎは、どんどんと上に行きました。そしたらうさぎは、もう見えなくなりました。そしたら休んで起きたらもうかめは、もう山の上にいました。そして、かめは、おそくてもこつこつがんばって勝ちました。

安田 ティア

わたしのおすすめの本は「れいぞう子の夏休み」です。この本の中にはれいぞう子が目、鼻、口、手、足としっぽをはやして夏休み

にプールに行きたいと家ぞくに言います。この本の中からおもしろいと思つたところは、れいぞう子と家ぞくがプールに行つて、れいぞう子がいじわるな子を食べたときです。でもそれがほんとうだったらこわいと思います。

根本 飛良

ぼくのオススメの本は「いつでも会える」という本です。作者は菊田まりこです。ぼくがこの本を読んだ後、「いい本だなあ。」と思いました。この本にはさみしい場面やうれしい場面がありました。ぼくが一番すきだった場面はシロが死んでしまったみきちやんに心の中で会える場面です。ぼくはこの本がほんとうにすきです。

六年生

わたしの好きな本

アンダートン ミツシエル
わたしは学校のプロジェクトで戦争の本を読んでいます。すごく悲しいお話です。

この本の中には、メリアンという子がいて、ドイツにすんでいます。戦争があつて、メリアンはお母さんとお父さんからはなれて、もっと安全なところへむりやり行かせられました。そしたら、お父

さんが戦争でたたかって死にました。そのあと、メリアンはずっとお母さんに会えませんでした。

わたしは、読んだときにちよつとなきたくなりしました。そして、今の時代に生まれてよかったと思えました。だって、わたしがお母さんとお父さんからはなれたらすごく悲しいです。今は、学校で外へ出て遊べるけど、メリアンはそういうことはできませんでした。わたしは今生まれて、すごくすこくよかったです。

逸見 かなな

「シティー・オブ・エンバー」は、一度読み出したらやめられないぐらい夢中になれる本です。それは、こんなお話です。

あるところに人々がエンバーという町を作りました。そこには、太陽や星というものはありませぬ。その町を作った人たちは、たいせつな箱を、昔のえらい人から次の時代のえらい人へわたしてきました。その箱は、時が来るまで開かないのですが、一人のえらい人は、むりやり開けようとしてしまいました。でも開けられないで、クロージェットの中にわすれたまま死んでしまいました。

それから長い間たって、だれも気づかないうちにロックが開いてしまったのです。その町の電球が切れ始め、きげんがせまりました。

その町以外はくらやみだといううわさを聞いているのにもかかわらず、二人の子どもは、この町以外にも明かりがあると信じ、ちがう町へ行く方法を見つけ出すというお話です。

中学科一年生

「雪女」

エスリンガー 晶

ぼくは、この話を読んだ時、あんまりこわくなかったと思いました。ぼくには、こわい話はずんぜんこわくないです。ぼくは、どうして、雪女が小屋に入って、茂作をころしたのかを知りたいです。そして、雪女は箕吉に雪女のことをだれかに話したら箕吉の命をとると言ったのかも知りたいです。それに話の後で、雪女はどこに行ったのかと思っています。雪女の話はぼくにはこわくなかったけれど、いい話でした。

江 翊辰

一九二六年の話、タイムスリップで行ってみよう。昔、白馬岳という険しい山で歩いていた箕吉と茂作。寒い風がきて吹雪がはじまり小屋に走った箕吉と茂作。雪女があらわれ白くこおった息を茂作にふき茂作をころした。それはけ

っこうこわかったです。

読んでわかったことは、やくそくをまもらなきゃ、ばちがあたるみたいでした。雪女は子どもとの生活したあとにきえたあと、箕吉は子どもにどうやって話を言ったかがわかりたいです。この本を読んでおもしろいことや、楽しいことがいっぱいありました。



鈴木 丈大

今年のノーベル医学賞・生理学賞の受賞者に、体の様ざまなそしきぞうきになるとされる「iPSさいぼう」を作り出すことに成功した京都大学きょうとうじゆの山中伸弥さんが選ばれました。

山中さんがノーベル賞を取るまでにいろいろなかんなんがいました。学生時代、山中さんは先生に「勉強だけできてもだめだ。」と教えられラグビーや柔道を一生けん命やりました。そのとき、自分がたくさんケガをして、「せいいげがいになつて、スポーツでけがした人達を治そう。」として来が目ひようを立てました。そして医者になっていろいろなかんなんじやに会つたりしていくうち

に「人を助けるためには研究が必要だ。」と考え、研究者になりました。ぼくはもつと、山中さんの子供のころどういふ子だったか、何をしたら医者になれるのかを知りたいです。ぼくは野球選手になりたくて、勉強なんか野球にかんけないと思つていたけど、スポーツだけでもだめだと学び、これからは勉強も頑張ろうと思つました。

中学科一年生

「千年の釘にいどむを読んで」

莫 亜倩

私は、「千年の釘にいどむ」を読んだ後、文章中の白鷹さんを尊敬しました。白鷹さんは、自分の仕事にとても熱心で二万四千本の釘を作ったのはすごいと思つます。一生けんめいがんばつて釘を作った白鷹さんは、心が強い人です。私だったら、きつと努力して、何本も釘を作ります。私も未来に、自分が好きな仕事をさがして、自分が興味のある事をしたいです。

ガニヨン 美優

わたしだったらかじ職人になろうとは思わなかつたです。そんな仕事がある事も知りませんでした。だけど白鷹さんは釘を大切に

している事がわかりました。白鷹さんと同じような職人が千年前にいなかったらたぶん今いい建物がなかったと思います。わたしだったら二万本の釘も作れなかったです。白鷹さんはむかしの人や未来の人に負けないようにがんばっています。白鷹さんのおかげでもっといい建物ができるかもしれませ

トンブソン 明日香

ぼくは「千年の釘にいどむ」を読んだ。古代の釘の見事さを知りました。千年たってもだめにならないって事はすごいと思います。それで白鷹さん、この内容に出てくるかじ職人が古代の釘と同じような釘を作ったことは、すばらしいと思いました。何本も何本もの釘を作り直したことは、苦労したと思います。ぼくだったら、たぶんあきらめてました。白鷹さんは、古代の釘を作ることができてすごいと思いました。

中学科三年生

展示「日系の歴史」を見て

絵美夏

第二次世界大戦の時代に、カナダに住んでいる日本人は百マイルの「保護地域」からおいだされま

した。家族たちは持てる物だけを持って、家からでました。日本人々はキャンプでくるしんで生きていきました。わたしはこのように人間をあつかうのはとてもひどいと思います。世界の人々がみんな仲良くして戦争が全くなかったらいいと思います。

「道」

呉 凱峰

ぼくは、昔日本人がカナダにきた時の事を考え、想像し、読みました。閉ざされた道を読んだ時、ある文にぎもんを感じました。その当時、日系人は数多くの貢献をカナダ社会に果たしてきたにもかかわらず、アジア人に対する人種差別は広まっていました。そのことを考えるとなぜ人種差別がおきたのかわからなくなりました。

高等科初級

頑張っている教科

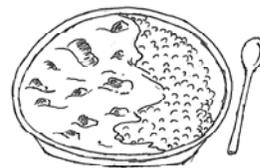
ジョーンズ 杏人竜

ぼくは、学校で料理クラスをとっています。食べ物を作って食べるのが楽しいので一番好きなクラスです。すぐくかんたんなクラスなので、今、とてもいい成績です。十年生では、いろんな国の料理

を作ります。今までにタイ料理と日本料理を作りました。タイ料理では、ココナツやマンゴーを使った料理をたくさん作りました。ココナツカレーが一番おいしかったです。ココナツカレーの作り方はかんたんで、家でも作って食べました。日本料理ではギョウザやし、お好み焼きを作りました。おいしかったけれど、母が作るほうがもっとおいしいです。

来月はメキシコ料理を作って、そのあとは中国やインドやいろんな国の食べ物を作りま

す。すごく楽しみです。



クリモ フランシス

ぼくは、クラブと学校で陸上をやっています。それで毎日走っています。ぼくのコーチは、ブルガリアからカナダへコーチをするために来ました。

一週間のスケジュールは、まず、月曜日に1kmを10回走りま

す。1kmを3分ぐらいで走ります。火曜日には15kmを走ります。ぼくはなるべく1時間以内で走るようにしています。水曜日は150mを18秒ぐらいで20回走りま

ぼくは一応400メートルのスペシヤリストで、大会で一位になるのは当然みたいなことです。今までにBC州の大会やプライベートな大会、スロバキアの大会に参加しました。



高等科上級

宇宙飛行士

「ぼくが抱いた夢」を読んで

不思議な宇宙

バートン 絵美里

小さいころ、私は宇宙のことは全く知らなかった。高校に入学するまで興味はなくてただの光る星が見える黒い夜空だと思っていた。でも、最近私は画家として宇宙のことをよく考える時が多くなりました。

宇宙飛行士の野口さんが、

「船外活動では、自分と宇宙が一对で対峙している。」と言って、いるその感覚を経験してみたい。とんでもない思いだがわたしはその感覚を想像しながら絵をかいたり、いろいろな美術をたんけんしています。

地球は宇宙にくらべたらとても小さい。それは当然だけど私は他の人から言われるより自分でみた

い。そのチャンスがくるまでには私は頑張つて美術を使いながら宇宙の不思議さと美しさを表現したい。

洪 思敬

「宇宙飛行士 ぼくがいだいた夢」を読み終わってぼくは将来の夢と言うのは必ずしも自分が描いた様にはならず、むしろその夢に向かう中で生まれる好機を見つけ、それをどのように生かしていくかによって変幻自在に変化していくということを学びました。この文章の中で、作者は幼い頃から宇宙に行つてみたいという漠然とした夢を抱いていて、それは大人になつても変わらず存在していました。けれども大人になつていくとともに、宇宙との関係も疎遠になってしまいます。作者が想像していたものとは全く違うものだったのでしよう。だが、その後十年近く訓練をし、見事宇宙飛行士になる夢が実現したのです。夢というのは決して自分がえがいていたようにはなりません。でも、自分を信じて続ければいつかは叶うものなのです。僕も自分を信じ、夢に突き進んで行きたいと思います。

以上、授業中に書いた作文です。良く書けましたね。

★展示「日系の歴史」を見ての感想文がバンクーバー新報・JCC Aに掲載されました。その一部を紹介いたします。

伊莎娜

最初の移民、一世の日本人たちは、日本よりもっと良い生活を求めてカナダにやってきました。一八六八年に日本から来た最初の人たちは漁村や農村の出身者でした。当時のカナダは世界中の人々に注目されていました。

一八九〇年代は、一世の人たちが、商店・宿泊施設・その他のビジネスを立ち上げました。一九〇〇年には、BC州の日本人の人口が二万八千人に達しました。日系コミュニティはバンクーバー、ビクトリア、ステイブストンに広がっていました。日本商店、日本語学校、仏教会、日本語新聞など、様々な活動ができるようになってきました。けれども、表面上は友好的でも、実際は人種差別が根強く行われていたことが明らかになっていきます。

一世の人たちは大変困難な道を歩いてきました。けれども困難を乗り越えたことを知って、私はこれを見習い、つらいことがあってもがんばろうと思いました。

カーター 詩音

日本人が最初にカナダに移住したのは一八六八年でした。カナダに住んでいた白人、特に西海岸に

住んでいた人は、日本人やアジア人をひどく差別しました。移民たちの苦勞、悲しみ、がんばった話がたくさんあります。

たとえば、トム・田上さんの両親は馬小屋に住まなければなりませんでしたが、馬の尿の臭いがとても強くて、健康な人でも病気になるほどでした。

また、メアリー・ハラガさんはカナダ生まれなのに、外国人登録番号をもらいました。自分自身の国から「エイリアン」だと宣言されたのです。

トム・シオヤマさんは、政治運動の一つとして「ニューカナディアン」という新聞を始めました。他の人に日系カナダ人の話を知ってほしかったのです。

二十世紀には、アジア人に対する人種差別が行われていました。アジア人は選挙さえできず、白人より少ない賃金しかもらえませんでした。

カナダに移住してきた日本人達の苦しみと辛さを考えると心が痛みます。人はなぜ差別をするのでしょうか。私の願いは、だれでも平等に過ごせる世の中になることです。



田路 ちはる
昔あったできごとなどは、いまの私たちにとつてはかけがえのない歴史の一部になっています。私は、昔バンクーバーに住んでいた日系人がどんな思いをしたのかを初めて知りました。彼らのコメントには、「私の両親は東部の方へ住むのを決心しました。ブリティッシュコロンビア州の思い出はあまりにもひどいので。」など書いてあり、今の私には信じがたい事ばかりでした。

皆のコメントや思いを読んでいるうちに、「九十九年の愛」という映画を思い出しました。日系カナダ人達はアメリカ軍に色々ひどい目にあわされました。あの頃の一世や二世の人たちは私とは違い、カナダ人と認められているはずなのに、世間は見た目だけで、一世や二世は関係なくジャップと呼ばれたそうです。彼等にとつては現実で、私たちにとつては歴史。私は日系カナダ人達が書いたこのメッセージを読んで、「あの時ここに住んでいた人たちはひどい目にあつたのにあきらめなかつたからここに私たちはいれるんだ。」と思ひ知る事ができました。一八七〇年代に頑張つてもらつた事を心から感謝しています。人種差別は間違っています。

日系ホームへのハロウィーン訪問交流会

グラッドストーン日本語学園幼稚園

グラッドストーン日本語学園幼稚園科の3歳・4歳児の火曜日クラスの23名が日系文化センター・博物館隣の日系ホームを訪問した。毎年恒例となったハロウィーン前日の発表会は、おじいさん・おばあさんとの交流の場となっている。

幼児が夢を抱いた、プリンセス、スパイダーマン、忍者、ミツパチ、ピーターパン、宇宙飛行士と様々なコスチュームを身につけ仮装した幼児がハイゲンキの食堂横に用意された場所に入場すると歓声が上がった。30人近いおじいさん、おばあさんの前で「大きな栗の木の下で」「まつぼっくり」「どんぐりころころ」「とんぼのめがね」「先生とお友だち」と元気いっぱい手遊びをして歌い、観客席のおじいさん、おばあさんも一緒に口ずさみ和やかな雰囲気があった。

発表後、幼児が拾った落葉を入れた手作りの葉をプレゼントした後、おじいさん、おばあさんから日本のお菓子がたくさん入ったおみやげ袋をいただき、またハイゲンキからもお菓子をいただいた。

こうして、今年も幼児とおじいさん、おばあさんとの絆と親睦を一層深め、素晴らしい心温まる思い出に残るハロウィーンのひとときとなった。



グラッドストーン日本語学園児童の日系ホーム訪問

野村 修弥

読む前は、カナダと日本の関係を少しは知っていました。日本のPOWキャンプや人種差別主義者や、戦争の事くらいは知っていました。ぼくが出ていた映画「ヘンリーズ グラセズ」で、こういう設定で撮影しましたから。くわし

くは知っていませんが、一応知っていました。人物やえらい人たちとか、知りませんでした。読んで感動しました。みんな生き残るといふ気持ちです。日本人のこういう点が立派だと思います。

《学園からのお知らせ》

一学期行事

- 九月四日(火) 新学年度始業日
- 十月・十一月 小学校の授業参観
- 十月三十日(火) 三、四歳児ハロウィンでホームを訪問
- 十一月二十七日(火) ～十二月一

日(土) 「漢字学習について」

村上学園長が説明

十二月八日(土) 漢字検定締切日

十五日(土) 基礎クラスのクリスマス会

十八日(火) ～二十一日(土)

小学校一年から三年まで

クリスマス会

二十二日(土) 一学期終了日

☆各クラス冬休みの宿題が出ていきますので少しづつやりましょう。

☆クリスマスやお正月を楽しくすごしましょう。

★二学期一月八日(火) 始業日

☆ご寄付御礼

- 図書・DVD・シール・はっぴ・浴衣・おもちゃ・スタンプの印・自転車・行事壁掛け・タオル掛け等々のご寄付者名
- 呉様・キャッツ様・野口様・桑原様・ハリソン様・長井様・ヤング様・マックコーマック様・ジョーンズ様・ラット様・クウ様・岩井様・ウエジャール様・ミリング様小川様・金内様・酒本様・ルキマ様

発行(学期に一回)

グラッドストーン日本語学園

(日系ヘリテージセンター内)

電話 六〇四一五二一〇九八〇

